

黒田総裁記者会見要旨(7月24日)

——G20終了後の麻生副総理、黒田総裁 共同記者会見における総裁発言要旨

2016年7月25日

日本銀行

—— 於・成都

2016年7月24日(日)

午後4時35分から約20分間(現地時間)

【問】

昨日のぶら下がり、ヘリコプターマネーの定義について、色々あるということをおっしゃいました。もちろん、ヘリコプターマネーを今検討とかそういうことではないと思いますが、G20の会議の場でヘリコプターマネーが何らかの形で議論されたとか話になったということはあったのでしょうか。

【答】

今言われたように、ヘリコプターマネーについては色々な定義で議論されていまして、どれがどうということが特定できませんけれども、少なくともこのG20の中ではヘリコプターマネーという言葉も、ヘリコプターマネーらしきことも、全く議論はありませんでした。

【問】

今回の議論を踏まえて、国内では経済対策の策定ですとか、金融政策決定会合が控えています、今回の議論を受けて、さらに指示をされることとか、今回の議論が今後の政策に反映されることはありますでしょうか。

【答】

現在、政府が経済対策の策定を進めておられることは承知しております。日本銀行といたしましては、今度の金融政策決定会合におきまして、展望レポートを取りまとめる予定です。その際、経済・物価見通しの作成に当たっては、経済対策の効果についても、当日までに利用可能な情報に基づいて織り込むことになると考えています。金融政策運営につきましては、そうした経済・物価見通しを踏まえて、2%の「物価安定の目標」をできるだけ早期に達成するという観点から、議論が行われて、適切に判断していくことになろうと考えています。

以上